

市民功労賞

(保健衛生)



とわだししかいしがい
十和田市歯科医師会
(会長 浅原 秀一)

昭和40年の設立当初から、地域住民の健康管理および公衆衛生・歯科保健の普及向上に寄与するとともに、地域や学校関係者との共同による歯科保健に関する知識の普及啓発に尽力した。

また、中央病院での入院患者の口腔の治療やケアおよび市の歯周疾患検診へ積極的に協力するなど、本市の歯科口腔保健の向上発展に大きく貢献した。

市民功労賞

(寄付による地域社会への貢献)



こくさい
国際ソロプチミスト十和田
(会長 田中 キヨノ)

平成5年から長きにわたり、女性の地位向上と児童の健全育成のための寄付活動を継続して実施し、市民文化センターへの文化芸術活動にふさわしい環境づくりのためのモニュメントをはじめ、中央病院へ訪問診療車両などを寄贈したほか、平成7年から毎年、市民図書館へ図書購入費を寄付するとともに、本年度は書籍消毒器の寄贈を行うなど、寄付により地域社会の向上発展に大きく貢献した。

令和元年度 十和田市文化に関する表彰

『文化賞』は、文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、十和田市の誇りに値すると認められた方、『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方、『文化奨励賞』は、優れた文化の創造および普及活動を続け、市民の文化向上に寄与した方に贈られます。

文化賞 ～地域史の研究・推進に貢献～

上十三地域の歴史について、古代から近代における文献資料の発掘、古文書の解読に尽力し、十数本の論文を発表。歴史講座、古文書解読講座などを通して、地域史の魅力を伝える活動を積極的に行っている。

その幅広い知識から青森県史、七戸町史、上北町史、野辺地町史、六戸町史、六ヶ所村史、写真誌などの編著に関わったほか、平成6年から10年間にわたり十和田湖町史の編纂委員長を務めた。

平成14年から青森県文化財保護協会常任理事を務めている。
(活動歴26年)



いと かずみち
伊藤 一允さん
(86歳・三本木字西金崎)

文化功労賞



そうま としみつ
相馬 敏光さん
(73歳・三本木字並木西)

十和田市少年少女発明クラブの指導員を長く務め、子どもたちの知的創造力の育成に尽力するほか、県内のモノづくり企業の実態を調査し著書にまとめ、技術開発や特許取得に係る現場の人たちの努力を紹介した。

また、郷土史においては、関係者への取材を通して実態を掘り起こし、吾郷開拓と三本木原開墾について3冊の著書を刊行。郷土史の貴重な資料となっている。
(活動歴38年)

文化功労賞



ふじわら としみつ
藤原 つや子さん
(62歳・西十二番町)

十和田フィルハーモニー管弦楽団フルート首席奏者、ゼルコバアンサンブル所属。

ゼルコバアンサンブル創設(平成12年)より学校訪問による演奏や各種コンサートにおいて、音楽の楽しさを共感できる企画を提供し好評を得ている。弦・打楽器、コーラスなどにも精通し、他団体とも多彩な活動を続けるほか、指揮や指導にも取り組み、音楽の普及・奨励に尽力している。
(活動歴23年)

文化奨励賞



おばら いずみ
小原 和さん
(28歳・深持字梅家ノ下)

中学生の時から短歌を始め、高校1年の時に青森県歌壇新人賞「新人奨励賞」を受賞。平成25年には短歌結社「まひる野」の最高賞である「まひる野賞」を受賞した。

その後は、20代では珍しい選者としての活動や、会報誌「まひる野」の特別欄「マチエール」に作品を掲載し、精力的に活動している。今後さらなる活躍が期待される。
(活動歴15年)

令和元年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。

～地方自治の振興発展に貢献～

昭和46年に十和田市議会議員に初当選以来、平成30年まで連続12期、47年余りの長きにわたり、市議会議員として観光・農業などの産業振興のほか、生活基盤や教育環境の整備、市民活動の支援にも献身的に取り組むなど、地方自治の振興発展、住民福祉の向上に大きく貢献した。その間、副議長、議長などの要職を歴任し、持ち前の優れた指導力により、円滑な議会運営に尽力した。

【平成10年：藍綬褒章受章】

【平成28年：全国市議会議長会特別表彰(市議45年)】



のづき ただみ
野月 忠見さん
(82歳・洞内字杉ノ沢)

令和元年度 十和田市民功労賞

十和田市民または市に縁故の深い個人などで特に社会的な功労が認められた方に贈られます。

市民功労賞 (市政発展)



けだ たけお
気田 武夫さん
(80歳・青森市大野字山下)

平成17年から3年余り、市町合併後の本市の初代助役(副市長)として、新市のまちづくりの推進に尽力し、市政の振興発展に大きく貢献した。

また、市町合併前の平成10年から6年余り、旧十和田市の教育長として学校教育や生涯学習の推進に努めるなど、教育の振興発展にも寄与した。

市民功労賞 (保健衛生)



くどう ようこ
工藤 陽子さん
(72歳・西三番町)

昭和55年から現在まで39年の長きにわたり、内科医として診療の傍ら学校医を務め、児童・生徒への親身に尽力し、市政の振興発展に大きく貢献した。

また、市町合併前の平成10年から6年余り、旧十和田市の教育長として学校教育や生涯学習の推進に努めるなど、教育の振興発展にも寄与した。

市民功労賞 (保健衛生)



たけだ しゅういち
竹田 昭一さん
(77歳・東三番町)

昭和46年から現在まで48年の長きにわたり、薬局経営の傍ら学校薬剤師を務め、教室の換気・水質検査や定期点検の実施、感染症発生時における消毒作業、各種環境検査の結果に応じた指導・助言に加え、薬物乱用防止教育相談にも応じるなど、学校内の学習環境の整備に尽力し、学校における保健衛生の向上発展に大きく貢献した。

市民功労賞 (教育発展)



おの けいし
小野寺 功さん
(75歳・西十三番町)

平成17年から市町合併後の本市の初代教育委員会委員長として、3期、12年の長きにわたり、教育行政に携わり、優れた指導力により、市の教育水準の維持向上と、文化・スポーツ活動など生涯学習の推進に尽力するなど、教育の振興発展に大きく貢献した。

また、在任中から「わっこの会」による親子読書会など、幼児・児童の情操教育の向上にも取り組んでいる。